

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 121	128	ヘルパンギーナ	↓ 5	16
咽頭結膜熱	↓ 39	49	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 8	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 62	56	急性出血性結膜炎	↓ 0	1
感染性胃腸炎	↑ 325	272	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 13	17
水痘	→ 27	27	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 42	52	無菌性髄膜炎	→ 1	1
伝染性紅斑(りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	↑ 2	0
突発性発しん	↓ 43	49	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎 報告数:325件(前週:272件) 地区別:菊池、人吉、有明 年齢別:1歳 61件(18.8%)
- RSウイルス感染症 報告数:121件(前週:128件) 地区別:八代、菊池、熊本市 年齢別:1歳 58件(47.9%)
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 報告数:62件(前週:56件) 地区別:宇城、菊池、人吉 年齢別:6歳 14件(22.6%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所		47	8	14	77	3	6		14			4		9		1		
山鹿保健所		1	1		17	3	4		1				*	*				
菊池保健所		24	23	20	74	7	23		8		1	2		1				
阿蘇保健所													*	*			1	
御船保健所					7								*	*				
八代保健所		23		2	31				6									
水俣保健所		3		1	2				2			1	*	*				
人吉保健所		7	1	4	38	3							*	*				
有明保健所		4	1	1	58	1	3		5				*	*			1	
宇城保健所		9	3	18	14	7	2		5				*	*				
天草保健所		3	2	2	7	3	4		2		4	1		2				
計	0	121	39	62	325	27	42	0	43	0	5	8	0	13	0	1	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	121	14	23	58	19	4	2	1														
咽頭結膜熱	39		2	11	10	3	6	2	3	1	1											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62			2	3	2	10	5	14	7	5	6	5	1	2							
感染性胃腸炎	325	7	33	61	39	34	24	27	18	11	7	5	34	4	21							
水痘	27	1	1	12	3	3	2	3	2													
手足口病	42		4	15	13	5	3	1			1											
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	43	1	22	18	2																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	5			3		2																
流行性耳下腺炎	8				1				1	1	2	2	1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	13					1	1	1					1			2	4	1	1	1		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1							1														
マイコプラズマ肺炎	2		2																			
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 手足口病 : 菊池

RSウイルス
まだまだ
流行継続中



RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症です。今年は、7月下旬から増加傾向にあり、今週も報告が多い状況が続いています。報告は、1歳未満:37件(30.6%)、1歳:58件(47.9%)、2歳:19件(15.7%)と乳幼児がほとんどですので、小さなお子さんのいる家庭では特に注意しましょう。

【症状】

鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてであった場合、約3分の1に肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。

【感染経路】

ウイルスは咳やくしゃみのしぶきからの飛まつ感染
ウイルスがついた手指や物(ドアノブ、手すりなど)からの接触感染

【予防策】

- ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない
- ・症状のある家族はマスクをする
- ・外出後の手洗いをきちんと行う



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課